

第 16 回 大 会 プ ロ グ ラ ム

9:00-	受 付 開 始				Y 棟 1 階 エントランスホール
9:30-10:45	分科会 A 「国際協力」	Y 校舎 1 階 Y101	分科会 C 「災害復興」	Y 校舎 1 階 Y102	企画セッション 「フィールド からの学び」 (10:00-11:55)
10:55-11:55	分科会 B 「多文化共生」		分科会 D 「サービス ラーニング」		
12:00-13:00	昼 食 休 憩 (理 事 会【※理事のみ (12:00-12:50)】)				Y 校舎 1 階 Y104 (理事会)
13:00-13:45	総 会				Y 校舎 2 階 Y201
14:00-15:45	<p><シンポジウム①> 「ポストコンフリクト支援のこれまでとこれから」 ファシリテーター：内海 成治（京都女子大学） パネリスト：宮原 信孝（久留米大学） 大久保 武（外務省アフガニスタン支援室長：調整中） 中原 正孝（国際協力機構（JICA）） 三宅 隆史（シャンティ国際ボランティア会（SVA）） 桑名 恵（立命館大学）</p>				Y 校舎 2 階 Y201
16:00-17:45	<p><シンポジウム②> 「子どもの健やかな成長をめざして —国際ボランティアのフィールド活動— ファシリテーター：中村 安秀（大阪大学） 高橋 真央（甲南女子大学） パネリスト：「母子手帳」大月 詩織（東京大学・看護師） 「緊急支援」原口 祐己（日本国際民間協会（NICCO）） 「栄養改善」藤田 真人（セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン） 「障がい児」川口 純（大阪大学）</p>				Y 校舎 2 階 Y201
18:00-19:30	懇 親 会				A 校舎 B1 階

Y 1 0 1 教 室

分科会 A 「国際協力」

【座長:宮原 信孝(久留米大学)】

		朝隈 芽生 (大阪大学大学院人間科学研究科)
09:30	A01	難民による自主運営校とボランティア —イランにおけるアフガニスタン難民の学校運営を事例として—
		安留 孝子 (千葉大学法政経学部福祉環境交流センター)
09:45	A02	インドネシアにおける高齢者の相互扶助による健康作りの活動 —スラバヤ市バロンサリ村の Karang Werda Cipto Ning での調査から—
		日下部 光 (大阪大学大学院人間科学研究科)
10:00	A03	マラウイの中等学校における孤児の就学を支える仕組み —NGOによる支援に着目して—
		小川 寿美子 (名桜大学) ほか
10:15	A04	放送大学「国際ボランティアの世紀」の NVivo によるワードクラウド分析とク エリウィザードによる可視化
		山田 恒夫 (放送大学) ほか
10:30	A05	国際ボランティア活動に関する学術・教育コンテンツ検索システムの改良

分科会 B 「多文化共生」

【座長:小川 寿美子(名桜大学)】

		黒瀬 聖子 (国際教育交換協議会 (CIEE) 日本代表部)
10:55	B06	国際ワークキャンプの創始者ピエール・セレゾール (Pierre Ceresole) とヴェル ダン (Verdun)
		奴久妻 駿介 (一橋大学大学院社会学研究科)
11:10	B07	日本の地方行政が捉える南米系外国人学校の諸相 —外国人集住都市会議を参考にして—
		朝山 洋樹 (立命館大学大学院社会学研究科)
11:25	B08	外国人留学生のエンパワーメント —神戸国際大学「日本文化サークル」を事例として—
		川口 純 (大阪大学)
11:40	B09	アフリカにおけるボランティアークラスの実態 —貧困層の教育権と教育の公正性を中心に—

Y 1 0 2 教 室

分科会 C 「 災 害 復 興 」

【座長:日下部 尚徳(大妻女子大学)】

		國政 歩美 (大阪大学大学院人間科学研究科)
09:30	C10	ケニアの半乾燥地帯の学校における自然環境災害に対する活動 —人々の環境配慮行動に着目して—
09:45	C11	望月 美希 (東京大学大学院新領域創成科学研究科) 被災地における<生きがいとしての農業>の回復と支援のあり方 —東日本大震災からの復興過程における検討—
10:00	C12	山本 香 (大阪大学大学院人間科学研究科) シリア難民による学校運営と公共性の保障
10:15	C13	稲山 諒 (広島大学総合科学部) 学生活動と災害復興 —広島土砂災害の復興現場から—
10:30	C14	日下部 達哉 (広島大学) Bangladesh 竜巻災害からの教育復興

分科会 D 「サービスマーケティング」

【座長:深尾 幸市(大阪青山大学)】

		石野 由香里 (早稲田大学平山郁夫記念ボランティアセンター)
10:55	D15	他者を演じることで「相手の立場に立った支援」を再考する
11:10	D16	李 永淑 (帝京大学) 就業力とは何か —ソーシャルビジネスを題材としたアクティブラーニングに参加した大学生が見出した学びから—
11:25	D17	山田 一隆 (立命館大学) ほか サービスマーケティングコーディネーターの素養と職責に関する一考察 —立命館大学における 10 年の実績をもとに
11:40	D18	森定 玲子 (プール学院大学) サービス・マーケティングとシティズンシップ

Y 1 0 3 教室

企画セッション

フィールドからの学び ～大学教育における「ボランティア」活動と社会貢献を考える～

【企画者：高橋 真央（甲南女子大学）】

	林 薫（文教大学）
E19	社会における大学の役割の再定義とボランティア
	湯川 洋久（四国学院大学）
10:00	E20 海外スタディツアー／国際ボランティアツアーについてのサーベイ
11:55	桑名 恵（立命館大学）
E21	学生の学びを超えた地域の学びとしてのサービスラーニングへの転換
	高橋 真央（甲南女子大学）
E22	大学の社会貢献と学生の社会参加における「学び」について

第 16 回大会参加者へのご案内

● 大会参加に関して

1. 大会本部

大会本部は、京都女子大学 Y 校舎 1 階 Y104 演習室です。

2. 名札

大会開催中は、見えやすいところに名札をお着けください。

3. 大会参加費

今大会の参加費は、受付時に下記の参加費をお支払ください。

一般会員 3,000 円（事前登録者 2,000 円）

学生会員 無料

※ 受付にて当日入会手続きを行っております。

4. 懇親会参加費

懇親会に参加される方は、受付時に下記の参加費をお支払ください。

一般会員 3,000 円

学生会員 1,000 円

5. 昼食について

昼食会場には A 校舎 B 1 階生協食堂をご利用いただけます。

● 研究発表に関して

1. 発表時間は 15 分（発表 10 分＋質疑応答 5 分）です。タイムキーパーは以下のようにベルを鳴らしますので、発表者の方は時間厳守をお願いします。

8 分経過：ベル 1 回（予鈴）

10 分経過：ベル 2 回（発表終了）

15 分経過：ベル 3 回（質疑応答終了）

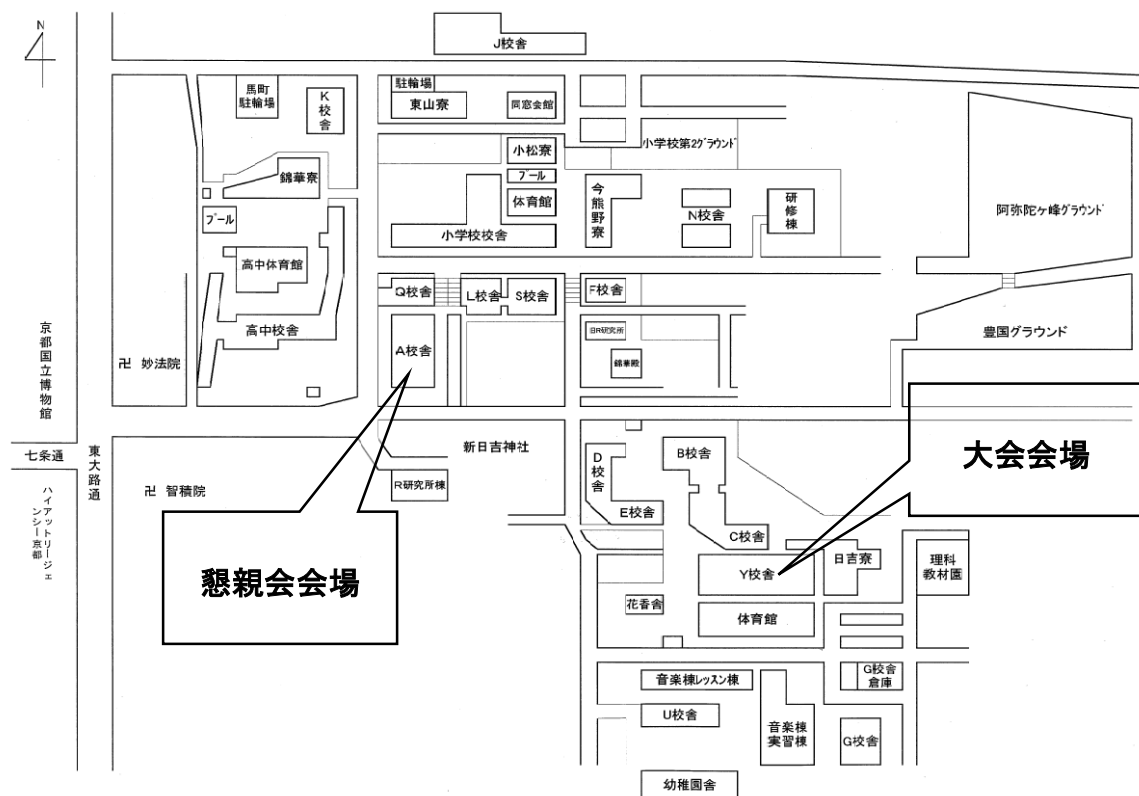
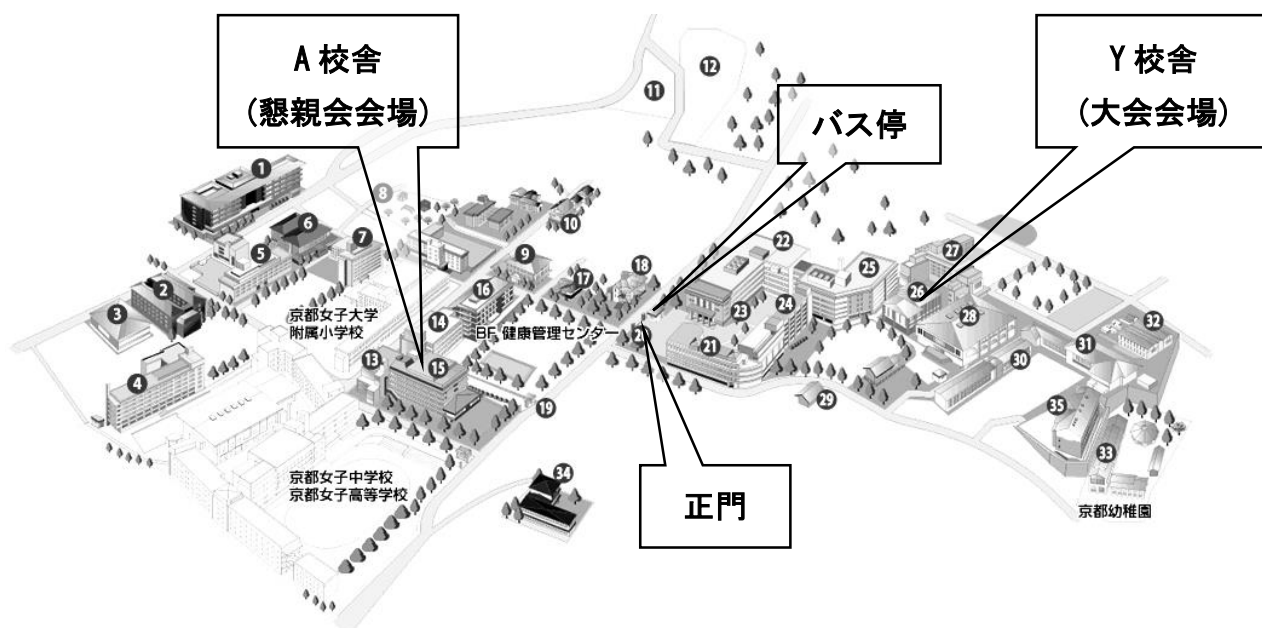
2. 発表者は、セッション開始 10 分前までに、各会場のパソコンデスクトップにスライドファイルを保存してください。また、会場前方にご着席ください。

3. 発表時のパソコン操作は、原則として発表者の方が行ってください。

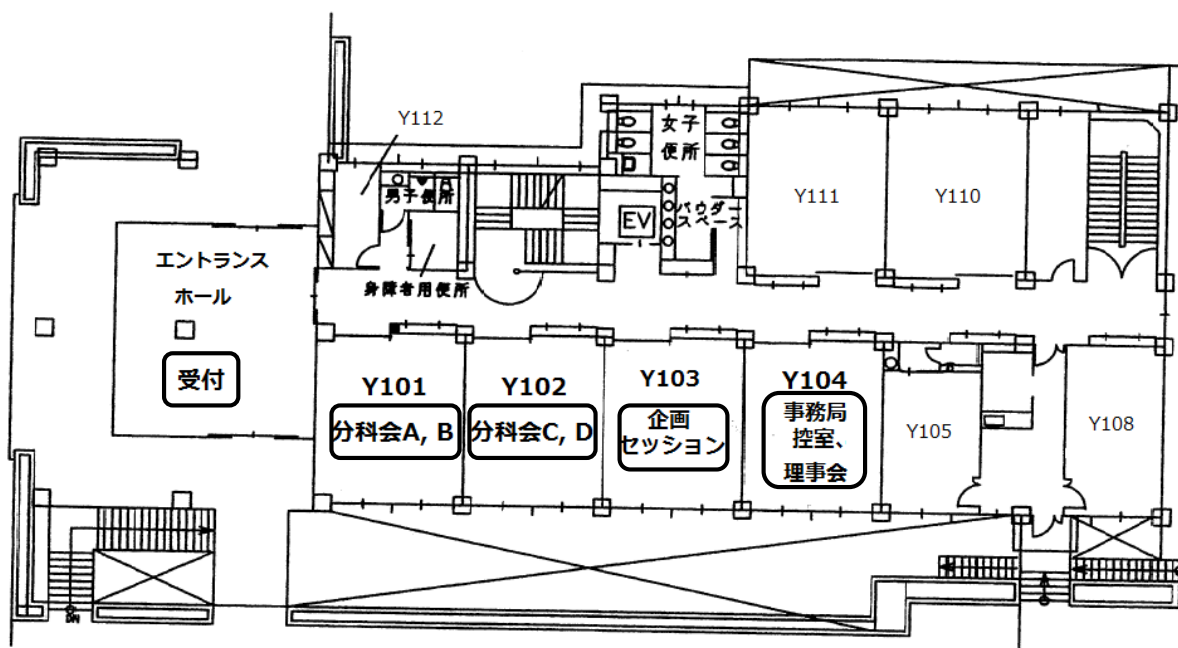
4. 配布資料がある方は、必要部数を各自でご用意ください。当日会場でのコピーはできません。

会場見取り図

京都女子大学キャンパスマップ



Y校舎1階（受付、分科会会場、事務局控室、理事会会場）



Y校舎2階（総会、シンポジウム会場）

